1液水性反応硬化形ウレタン樹脂塗料

JIS A 6909 建築用仕上塗材
可とう形改修塗材E/RE
複層塗材E/RE　防水形複層塗材E/RE
上塗材

オーデフレッシュU100Ⅱ（ウレタン）

低汚染性・高耐候性を宣言した、
環境対応形ウレタン樹脂塗料

ファイネス
環境配慮形商品

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

建築物等の保全技術・技術審査証明 第0406号取得　景観材料推進協議会推奨品

特 長

①完全水性でリニューアル
アンダーフィラー弾性エクセルと組み合わせたオーデリウォールシステム（新塗り改修工法）は、環境にやさしい完全水系改修システムです。

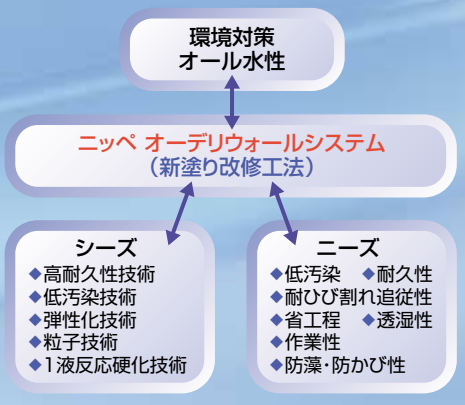
②すぐれた耐久性
ウレタン樹脂を複合した最先端の1液水性反応硬化技術を用いることで、従来の水性塗料にはなかった、すぐれた耐久性を実現しました。

③すぐれた低汚染性
当社独自の低汚染化技術（特許出願中）により、外壁の美観を損なう雨垂れ汚染から建物をまもり、美しさを長持ちさせます。

④防藻・防かび機能
バイオ技術により、藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。

⑤高級感あふれる仕上がり
きめ細かい肌が特長のアンダーフィラー弾性エクセルと、高光沢のオーデフレッシュU100Ⅱにより高級感のある美しい仕上がりとなります。

つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消し※から選べます。
※つや消しについては、可とう形改修塗材RE、防水形複層塗材E/REの規格は適用できません。



こんな場合に適しています。
①2液形ウレタン樹脂塗料に匹敵する耐候性を確保したい場合。
②溶剤臭を避け、水性塗料のみで低汚染性にすぐれた仕様を組みたい場合。

■標準塗装仕様（塗り替え）［オーデ リウォール システム］（JIS A 6909 可とう形改修塗材E）

工　程	塗　料　名	塗り回数	使 用 量（kg／m²／回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希 釈 剤	希 釈 率（%）	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する						
下 地 調 整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し、清掃する						
下　塗　り	ニッペ アンダーフィラー弾性エクセル	1	0.40～0.80	4時間以上	水道水	3～6	ウールローラー
			0.80～1.30			1～3	砂骨ローラー
						2～5	吹 付 け
上　塗　り	オーデフレッシュ U100Ⅱ	2	0.14～0.17	3時間以上	水道水	5～10	ウールローラー エアレススプレー

■標準塗装仕様（新　　設）ヘッド押さえ模様仕上げ（JIS A 6909 複層塗材E）

塗装工程 施工場所	工　程	塗　料　名	塗り回数	使 用 量（kg／m²／回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希 釈 剤	希 釈 率（%）	塗装方法
現地	素 地 調 整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする						
	下　塗　り	ニッペ一液浸透シーラー	1	0.06～0.20	2時間以上 7日以内	無稀釈	——	ウールローラー エアレススプレー
	中　塗　り	ニッペタイルラック EMA−Sベース 100K	1～2	1.40～2.00	16時間以上	水道水	1～3	タイルガン
	ヘッド押さえ	押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけ、模様吹き工程直後から30分の間に凸部を押さえる						
	上　塗　り	オーデフレッシュ U100Ⅱ	2	0.14～0.17	3時間以上	水道水	5～10	ウールローラー エアレススプレー

・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
※JIS A 6909 仕様の組みあわせについての詳細はお近くの販売会社（営業所）までお問いあわせください。

Basic & New
NIPPON PAINT

オーデフレッシュU100Ⅱ

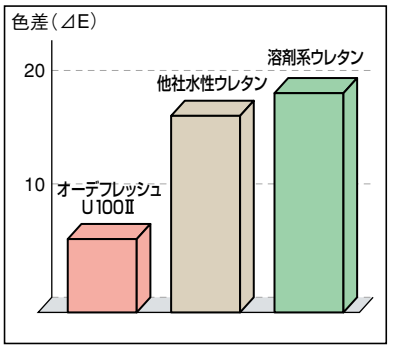
■適用下地
- コンクリート面（現場打ち）
- モルタル仕上げ面
- ALCパネル
- 塗り替え改修用（アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜）

■注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。）
- 素地の乾燥は十分に行ってください。（含水率10%以下、pH9以下）
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面、外部の素地において巣穴、段差などがある場合、合成樹脂エマルション入りセメント系下地調整材（ニッペ セメントフィラー、ニッペ フィラー200）などで処理してください。
- 表面のごみ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンカ、コールドジョイントなどは合成樹脂エマルション入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは下塗り材としてニッペ 浸透性シーラー（新）、ニッペ 一液浸透シーラー、ニッペ ファイン浸透シーラーをお使いください。
- 新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 下地・旧塗膜がぜい弱な場合は、溶剤形シーラーを使用してください。
- 塗料は、内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良となりますので注意してください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なり、色相差がでますので、はけ塗りの部分は、希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ニッペ アンダーフィラー弾性エクセルの微弾性機能は、塗付量によって異なりますので、所定の塗付量を塗装してください。
- ニッペ アンダーフィラー弾性エクセルを砂骨ローラーで施工する場合は、くばり塗りを行い、次いでならし塗りした後、下から上へ模様むらの生じないように行ってください。
- よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 各工程の塗装間隔は所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。
- 改修工事で溶剤形の下塗り材をご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異常が発生することがあります。試し塗りなどでご確認の上、本施工を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化したのちに行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはがれ、収縮割れが起こることがあります。
- 建物の形状や施工部位、周辺の環境によってよごれることがあります。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは洗浄などで必ず除去し清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 塩ビゾル鋼板の上の塗装は避けてください。
- スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥した塗膜に付いたよごれは、シンナーなどで拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- つや調整品（7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消し）は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。見本塗り板、または、あらかじめ試し塗りをして確認してください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時、塗料の取り扱い時は十分に換気を行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため養生を行ってください。
- 色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが乾燥すると元に戻り、塗膜性能上問題ありません。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露がありますと白化やしみが残る場合があります。
- 低温、高湿度、通風のない場合は白化やしみが残ることがあります。
- 乾燥条件によって塗膜に粘着を感じることがありますが、時間とともに粘着感はなくなり、塗膜性能上問題ありません。
- 笠木、天端など、長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合があります。
- たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- 蓄熱されやすい素材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど）や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。

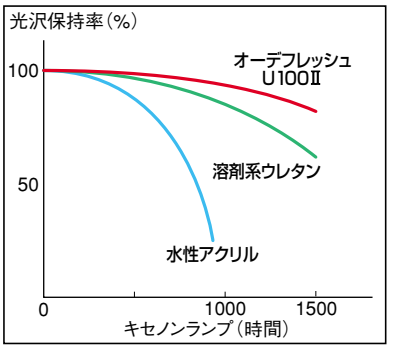
■JIS A 6909（可とう形改修用仕上塗材）にもとづく性能

試験項目		規格	性能
低温安定性		塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		ひび割れがないこと	合格
付着強さ N/mm²	標準状態	0.7以上（可とう形改修塗材E）1.0以上（可とう形改修塗材RE）	1.5
	浸水後	0.5以上（可とう形改修塗材E）0.7以上（可とう形改修塗材RE）	1.3
温冷繰返し		試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと	合格
透水性B法		0.5以下	0.1
耐衝撃性		ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと	合格
ひび割れ充てん性		基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと	合格
耐候性A法		ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合格
可とう性		ひび割れがないこと	合格
鏡面光沢度（60度）		75以上	80
耐候性B法（耐候形2種）		照射時間1200時間で塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり白亜化の等級が1以下であること	合格

■オーデフレッシュU100Ⅱ汚染性
［東京6カ月の雨垂れ汚染試験結果］



■オーデフレッシュU100Ⅱ耐候性
［促進耐候性試験結果］



※色差（⊿E）は、数値が大きいほど雨垂れ汚染性が悪いことを示しています。

■種類と容量
オーデフレッシュU100Ⅱ
○ホワイト……15kg　○調色品……15kg
○つや……つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消し

危険

危険有害性情報
1.飲み込むと有害のおそれ
2.強い眼刺激
3.アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
4.発がんのおそれの疑い
5.生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
6.呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ
7.長期的影響により水生生物に有害のおそれ

安全衛生上の注意事項（オーデフレッシュU100Ⅱホワイト）
1.本来の用途以外に使用しないでください
2.使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3.粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないでください。
4.屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
5.必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
6.汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
7.取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
8.適切な保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
9.必要に応じて個人用保護具を使用してください。
10.吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
11.飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
12.眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
13.眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
14.皮膚に付いた場合、多量の水とせっけんで洗ってください。
15.取り扱った後、手を洗ってください。
16.皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
17.直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
18.粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
19.暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
20.緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
21.容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
22.施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
23.直射日光や水濡れは厳禁です。
24.積み重ねは3段までとしてください。
25.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
26.内容物／容器を廃棄するときには、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
27.容器、塗装具など洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●ISO14001を全事業所で認証取得。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
※© Copyright 2008 NIPPON PAINT Co.,Ltd All right reserved.

地球と語ろう ECO Action 21

■詳しい情報はホームページで
日本ペイント　建物　検索
http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.
NP-M135
KB081006T
2008年10月現在